

エフピコ環境基金
中間報告
(2022年4月1日～9月30日活動分)



エフピコ環境基金
The FP Corp. Environment Fund

助成先一覧

①環境保全

団体名
NPO法人 湘南クリーンエイドフォーラム
認定特定非営利活動法人 神奈川海難救助隊
特定非営利活動法人 チャウス
特定非営利活動法人 河北潟湖沼研究所
特定非営利活動法人 こが里山を守る会
瀬戸内海宇治島クラブ
NPO法人 荒川クリーンエイド・フォーラム
特定非営利活動法人 宮島ネットワーク

②環境教育・研究

団体名
公益財団法人 みやぎ・環境とくらし・ネットワーク
特定非営利活動法人 とす市民活動ネットワーク
認定特定非営利活動法人 びわ湖トラスト
一般社団法人 四日市大学エネルギー環境研究会
NPO法人 SoELa

③「食」課題解決・「食」支援に関わる活動

団体名
特定非営利活動法人 フードバンクさが

湘南クリーンエイドフォーラム（神奈川県）

助成金額	1,550,000円
活動内容	神奈川県の実然海岸150kmをビーチクリーンして周る『ビーチクリーン駅伝』と、多くの他団体と連携した湘南エリアでの一斉ビーチクリーン『オール・オーシャンラバース・ビーチクリーン』の2つのプロジェクトを推進。 →地域の環境保全を促進、地域で別々に行われているボランティア間に活動連携のためのプラットフォームの形成を目指す。
活動実績	・4月1日から9月17日まで30回の打ち合わせ、ビーチクリーン駅伝の下見 ・毎月「調べるビーチクリーン」で辻堂海岸のゴミ拾い活動を実施
活動規模 (社内参加者)	社内参加者 4日間 計32名
事務局コメント	毎月ビーチクリーン活動を実施され、社内活動参加者が最も多い団体です。



他団体との共催活動



環境問題セミナー（オフライン）



ビーチクリーン駅伝ハンドブック



雑誌「湘南スタイル」



5月10日 社内参加者8名



7月10日 社内参加者8名

神奈川海難救助隊（神奈川県）

助成金額	920,000円
活動内容	船舶で隊員とボランティアが玉網等を使用して、東京湾に浮遊するごみを回収する活動
活動実績	1回目 4月3日（日） 9時00分～16時00分 場所：東京湾保田漁港方面 参加人数：7人 浮遊ごみ回収総量：5,8kg 2回目 5月8日（日） 9時00分～15時30分 場所：東京湾東京港方面 参加人数：8人 浮遊ごみ回収総量：2,5kg 3回目 6月5日（日） 9時00分～16時30分 場所：東京湾三崎港方面 参加人数：6人 浮遊ごみ回収総量：14kg 4回目 7月17日（日） 9時00分～11時00分 場所：東京湾京浜運河方面 参加人数：6人 浮遊ごみ回収総量：1,5kg 5回目 8月7日（日） 9時00分～16時00分 場所：東京湾千葉港方面 参加人数：6人 浮遊ごみ回収総量：94kg 6回目 9月4日（日） 9時00分から16時30分 場所：東京湾久里浜港方面 参加人数：5人 浮遊ごみ回収総量：15kg
活動規模	参加人数 累計38人



チャウス（群馬県）

助成金額	830,000円
活動内容	・ピストン釣り教室 ・サケプログラム（サケの遡上～サケの卵の配布～育てたサケの稚魚放流）の準備 ※実施日は11月より ・ヤマメプログラム（ヤマメの卵の配布～育てたヤマメの稚魚放流 ※環境学習・清掃活動含む）の準備
活動実績	第1回 2022年8月27日(土) 9:00～12:00：ピストン釣り教室① 第2回 2022年9月17日(土) 9:00～12:00：ピストン釣り教室② 活動場所 桐生市市民広場・渡良瀬川河川敷 活動内容 ①ピストン釣り教室 ②川の生物環境調査（釣れた魚から川や自然の健康状態をみる） ③地域の自然環境学習 ④ごみ拾い活動
活動規模	参加者 第1回42名／第2回44名 【合計86名】
事務局コメント	11月3日開催のヤマメプロジェクトに参加。 楽しみながら、桐生の自然を守るにはどうすればいいかを子どもたちが考えることができるプログラムでした。



河北潟湖沼研究所（石川県）

助成金額	1,000,000円
活動内容	河北潟流域の水辺のごみ減少、発生抑制を目指し、ごみの発生場所、ごみの内容調査、ごみ拾いを実施し、ごみゼロ河北潟の実現を目指した啓発活動も行う。
活動実績	①河北潟クリーン作戦 2022年4月17日(日) 9:00～10:00 河北潟の8地点でごみ拾いを実施。約3トンのごみ回収。 ②河北潟流域ゴミ調査 2022年8月24日(水),8月25日(木) 9:30～16:00 河北潟の湖岸を2日間で6地点周り、ごみ調査を実施。 各地点で土を一定採取し、その中に細かなごみがどれぐらいあるか調べてた。 ③カヌーでごみ拾い 2022年9月4日(日) 8:30～12:30 河北潟本湖南側でカヌー体験をしながらごみ拾いを実施。
活動規模 (社内参加者)	①637名 ②14名 ③15名



こが里山を守る会（茨城県）

助成金額	670,000円
活動内容	保全整備活動（下刈、倒木・立枯れ木伐採、子ども参加の里山体験活動（野草観察・スズメバチの捕獲器設置・里山の恵み体験（山栗拾い）
活動実績	4/3 植樹地の下草刈り（桜の開花） 4/10 タニウツギ植樹 4/17 立枯れ木伐採 5/12 上大野小児童（野草観察） 6/23 上大野小児童（スズメバチの捕獲器設置体験） 9/15 上大野小児童 里山の恵み体験（山栗拾い） 5/8, 5/15, 6/19, 7/10, 7/17, 8/21, 9/11, 9/18 下刈
活動規模 （社内参加者）	14日間 累計300名 （5日間 累計9名）
事務局コメント	関東リサイクル工場、エフピコ物流の方に積極的に活動参加していただいています。

4/3 保全整備地に植樹した桜開花



4/10 タニウツギ植樹



4/17 コナラ伐採（立枯れ木）



5/8 下刈



瀬戸内海宇治島クラブ（広島県）

助成金額	500,000円
活動内容	宇治島の豊かな自然を守るため、毎年海の日には200人乗りのフェリーをチャーターし、海洋ごみの清掃を行っている。清掃後は海水浴、釣り、島の散策を行い宇治島の魅力を体感してもらう。
活動実績	活動日時：2022年7月18日(海の日) 活動場所：広島県福山市走島町宇治島 参加人数：130名 活動内容：無人と宇治島の自然を守るため、海浜清掃などの環境啓発活動を行うとともに、自然とのふれあいを通じて島の魅力を伝え、青少年の健全育成を目的としている。
活動規模 (社内参加者)	130名(4名)



荒川クリーンエイド・フォーラム（東京都）

助成金額	2,000,000円
活動内容	企業/業界団体（日本プラスチック工業連盟）等のステークホルダーを対象とした荒川清掃研修を年間6回実施する。気軽に当該研修を体験できるプログラムを企画/運営することで活動の裾野を広げるとともに、国内から流出する河川ごみを削減する。
活動実績	▼現場活動 4.23（EarthDay翌日）および 9.17（World Cleanup Day）に（株）ピリカと共催現場活動を開催した。 場所：荒川河川敷（江戸川区-葛飾区） 参加人数：環境省および企業20社130名 内容：河川ごみの除去活動および（株）ピリカのサービスを企業に紹介した。 ▼オンライン環境講話 9.6、9.15、9.30の3日間にて オンライン講話を開催した。 方法：オンライン会議ツール Microsoft Teams 参加人数：9.6（6組6名）、9.15（4組7名）、9.30（5組6名） 内容：「河川ごみ/海洋ごみ問題について 荒川から考える」をテーマに 荒川クリーンエイドの活動とごみ問題について講話を行った。 参加者所属概要：環境省、外務省、プラスチック工業連盟会員企業、日本電気工業会会員企業、学生など
活動規模	2日間 計130名※清掃活動のみ
事務局コメント	活動のたびに声がけを頂くなど、良好な関係を構築しています。



宮島ネットワーク（広島県）

助成金額	2,000,000円
活動内容	①アサリ浜の育成事業 ②アマモ場育成実験事業 ③宮島海岸清掃
活動実績	①アサリ浜の育成事業 5月15日 アサリ浜の覆い網を交換し、浜の死貝を取り除きながらアサリ堀を楽しむ。 9月28日 アサリ浜に流れ込む川の流れ変更作業 ②アマモ場育成実験事業 宮島学園に設置したアマモの観察水槽を管理。エアポンプパイプとフィルターを交換。 アサリ浜沖にアマモを植えてアマモ場を育成・観察中。 ③宮島海岸清掃 6月12日 腰細浦海岸の清掃 回収量74,0kg(うちカキ養殖用発泡スチロール55,4kg、75%) 9月23日 青海苔浦海岸の清掃 回収量75,5kg(うちカキ養殖用発泡スチロール34.5kg、46%)
活動規模 (社内参加者)	計120人
事務局コメント	中四国営業部の皆様に毎回活動に参加していただいています。



みやぎ・環境とくらし・ネットワーク（宮城県）

助成金額	2,000,000円
活動内容	・SDGs教育プロジェクト広報 ・小学校からの相談と学習支援
活動実績	1 SDGs教育プロジェクトの広報 ○SDGs教育プロジェクトのリーフレットの作成と配布 ○タブレット端末の購入と学習教材のデモンストレーション 2 小学校からの相談と学習支援 (1) 仙台市立中野栄小学校・SDGsクラブ（4～6年6名） (2) 仙台市立南小泉小学校・グリーンカーテン（5年82名） (3) 仙台市立泉松陵小学校・環境（5年55名） (4) 仙台市立八木山小学校・防災（5年91名） (5) 仙台市立七郷小学校（4年133名、6年112名） (6) あすなろ学院・エネルギー（4～6年、中学1～2年21名）
活動規模 （社内参加者）	6日間 計500名
事務局コメント	下半期には、出前授業を依頼されています。



とす市民活動ネットワーク（佐賀県）

助成金額	1,000,000円
活動内容	木育リーフレット作成(3,000部)
活動実績	国産材の需要拡大のため、木育について説明。 幼児期から木製品と関わることのメリット・効果を通して、親子のコミュニケーションを円滑にすることや、さらに豊かな感性を育む事を支援するために作成。 県内の関係部署、幼保育園、公共施設、イベント時等に順次配布。
活動規模 (社内参加者)	なし（下半期にイベント開催予定）
事務局コメント	12月開催のイベントにボランティア参加予定です。



びわ湖トラスト（滋賀県）

助成金額	2,000,000円
活動内容	①琵琶湖でのマイクロプラスチックの調査 ②琵琶湖岸漂着ゴミの回収と分別 ③日本地球惑星科学連合および国際陸水学会(ベルリン)で研究発表
活動実績	①マイクロプラスチック調査 日時・参加人数／4月17日16人、5月22日11人、6月19日11人、7月24日13人、9月18日11人 ②琵琶湖漂着ごみ調査 7月30日59人（エフピコ関係者7名） 湖岸に漂着しているごみを回収し、内容物を分別し、主にプラスチックごみの計量・特定を行いました。 ③日本地球惑星科学連合および国際陸水学会での研究発表 日本地球惑星科学連合 5月22日／千葉県幕張メッセ 国際陸水学会 8月6日～8月11日／ドイツ国ベルリン市
活動規模 （社内参加者）	121名(7名)
事務局コメント	びわ湖トラストJr.ドクターの皆様にオンライン工場見学に参加していただきました。



四日市大学エネルギー環境教育研究会（三重県）

助成金額	740,000円
活動内容	①SDGsを様々な視点から学び持続可能な地域づくりを考える市民講座の実施 ②地域まちづくり委員会と連携した体験型講座の実施 ③児童館・学童保育所でのESDの手法を用いた体験型講座実施
活動実績	①市民を対象にした5回シリーズ講座「未来へつなぐSDG s」開催<5講座実施、参加者86名> ②まちづくり委員会と連携した体験型講座（農作業体験＋田んぼの生き物観察＋生物多様性についての講義）<参加者75名> ③児童館・学童保育所でのESD体験型講座<27講座実施、参加者764名>
活動規模 （社内参加者）	計925名
事務局コメント	11月に訪問してお話を伺いました。非常に熱心に活動されています。



SoELa（神奈川県）

助成金額	1,000,000円
活動内容	マイアース相模湾パッケージ、箱根パッケージを活用し、小田原市を中心に体験会、ワークショップを開始。
活動実績	①日時：2022年5月5日 11:00～17:00 場所：フレスポ小田原シティモール/内容：相模湾パッケージにて体験会を実施 ②日時：2022年5月22日 12:00～14:00 場所：小田原市民交流プラザ（UMECO）/内容：小田原パッケージ体験会 ③日時：2022年6月23日 13:00～16:00 場所：函嶺白百合学園/内容：学園内交流会マイアース体験会 ④日時：2022年6月24日 13:00～16:00 場所：川崎市男女共同参画センター/内容：お祭りにマイアース出展 ⑤日時：2022年7月24日 13:00～16:00 場所：川東タウンセンター マロニエ/内容：小田原市親子環境教室 ⑥日時：2022年8月6日 13:00～16:00 場所：かまぼこの里/内容：鈴廣蒲鉾さんの協力で体験会を実施 ⑦日時：2022年9月25日 11:00～12:00 場所：エフエム小田原/内容：情報番組で相模湾パッケージの紹介 ⑧日時：2022年9月25日 13:00～16:00 場所：フレスポ小田原シティモール/内容：来場者向け来見解を実施
活動規模	従事者41名
事務局コメント	12月のマイアースの大会にブース出展予定です。



みんなが主役! トレー to トレー

【サポート】を自分の捨て場から
1枚選んで、山札に加える。
(自分の手札が0枚の時は手札に加える) (使いきり)

エフピコでは、世界で初めて使用済みトレーから再び食品トレーを作る「循環型リサイクル」を始めた。1990年にスタートし、年間17万トンのCO₂排出量を削減している。この活動には、消費者に使用済みトレーを洗って乾かし、スーパーの回収ボックスに入れてもらう協力が欠かせない。

株式会社エフピコ

【サポート】

SP NPO 法人 SoELa Photo by © 株式会社エフピコ 環境基金事務局

フードバンクさが（佐賀県）

助成金額	530,000円
活動内容	①「食の大切さを学ぶ農業体験会」定期的な農業体験と料理の場を設ける ②「収穫協力」価格変動や人手不足等の理由で処分せざるを得ない農産物を生産者と協議して一般家庭や大学などの連携を行うことで収穫し活用する。収穫物はフードバンクが支援団体を通して困窮世帯などに提供する
活動実績	4/18,25,5/10 水田氏（農業指導）と打合せ 10人 5/15 畑の草刈り、耕作、畝立て 4人 5/16 防草マルチシート張り、種まき準備（落花生） 2人 5/17,5/18 佐賀大学五十嵐教授と事業企画打合せ 3人 防草マルチシート貼り 3人 5月19日（木） 落花生種まき 4人 5月22日（日） さつま芋定植 4人 6月 2日（木） 根切り虫対策 3人 6月 4日（土） 除草剤散布、種まき準備（トウモロコシ） 4人 6月12日（日） 除草作業、防獣柵設置準備 4人 6月16日（木） 除草作業 4人 6月24日（金） イベント打合せ 3人 6月25日（土） 防獣柵設置、トウモロコシ定植（佐賀ブルーナース&日本生命との共同イベント） 15人 6月28日（火） 防獣柵バッテリー設置 3人 7月 9日（土） つる返し、除草作業、ブルーベリー収穫補助 6人 7/12,19（火） 除草作業 7人 8月 1日（月） 除草剤散布 2名 8月 2日（火） 佐賀大学五十嵐教授と打合せ 3人 8月11日（木） つる返し、除草作業、ブルーベリー収穫補助 4人 8月21日（日） トウモロコシ収穫 3人 9月 3日（土） 除草、つる返し作業 4人 9月10日（土） さつま芋試し掘り、ビニールハウス補修作業 4人
活動規模	計 99人

